

ノヤマ通信

vol.31 (2025.如月)



森のようちえんヒュッテ

【1月の活動記録：9日山の基地、16日山の基地、20日桂川溪谷、23日山の基地、30日山の基地】

●活動を見つめるコラム

「自然とのふれあいを日常に」

森のようちえんの活動で、子どもたちの様子を観察していると、名もなき遊びが生まれては消え、消えたと思ったらまた復活したり、進化したりしている様子を目にすることがあります。

桂川溪谷にあるキャンプ場に出かけた時のこと。6歳と3歳の女の子たちが、「探検に行こう！」と言って手をつなぎ、ぐるぐると林の中をお散歩していました。興味の引かれた場所で少し立ち止まっては、また「探検に行こう！」と言って手をつないで歩きだす、その繰り返し。

3歳のAちゃんが探検という言葉を理解して使っているのかはわからないけど（もしかしたら絵本で知っているかもしれない）、いつもの「お散歩」を「探検」と名付けて声に出すことで、いつもと違った風に感じられるのかなあ、それとも「探検」という言葉の響きを楽しんでいるのかなあと思いながら観察していました。

別の2歳のA君は、「先がいい感じに曲がった杉の枝」を持ってやってきて、この枝で釣りをしよう！と誘われたので、私も似たような枝を拾ってキャンプ用デッキの端っこに立ち、釣りの気分を一緒に味わいました。これはたぶん、釣りごっこ。

私たちは、名前のあるものや意味のあるものに囲まれて暮らしています。もしかしたら、そうしたものに囲まれすぎていて、自由な創造力を発揮できなくなっているのかなあと思うこともしばしばです。

だからこそ、子どもたちがまだ定義や意味づけをされていない遊びを始めるとき、とても嬉しくて、自分の世界もぐぐっと広がっていくような気がしています。

そうした瞬間に立ち会いながら、子育てや森のようちえんでの活動を楽しんでいきたいなあと考えています。（ち）



▲1/9森のようちえんヒュッテ@山の基地



山の基地

【1月の活動記録：13日開放日】

●1/13、平地の雪はとけたけど、山にはまだまだ雪がありますよ～と呼びかけたところ、森のようちえんのファミリーが遊びに来てくれました。雪だるまを作ったり、そりすべりをしたり、雪合戦をしたりと、とけていく雪を惜しむように遊びを楽しみました。



●キウイの剪定作業も手伝っていただき、ありがとうございました。木が活動を休んでいる2月の中旬ごろまでには、余分な枝の剪定を終わらせたいと思っています。去年はほとんど収穫できず残念でしたが、今年はどうなるでしょう?! 🍷



✿✿ その他の活動

●植林の仕事

1、2月も引き続き植林の仕事をしています。宇和町多田地区での作業を終えて、明間地区の現場に入っています。

植林をする現場では、写真のように植えられていた木がすべて伐採（皆伐）されています。こうした状況は、生産効率を高めるため、大型の機械を使って伐採作業を進めることにより生み出されます。これだけ木を切ってしまうと、生態系に影響が出たり、雨で表土が流れてしまったりと環境面で色々な問題が心配されます。そのため、皆伐という林業のスタイルを見直す動きがあり、私も見直した方が良いと思っています。

皆伐にまつわる別の問題として、伐採後の植林作業が進んでいないということがあります（全国平均で伐採面積に対する植林率は3～4割とのこと）。植林にもコストがかかること、山主さんの山への関心の低下、林業に従事する人の不足など、いろいろな要因がありますが、根本的な原因としては、人々のふだんの生活と山とが切り離されてしまったことがあると思っています。山に限らない話ですが、関わりを持たなくなってしまうと、その対象に心を寄せることは難しくなってしまうので。

私たちが行っている森のようちえんや自然体験の活動は、そうした人と山との関係を結び直すきっかけの1つだと思っています。今回の経験を生かして、地域の山とどう付き合っていくのかを考える勉強会などもしずれやってみたいと思っています。（ゆ）

●森のようちえん指導者養成講座in愛媛に参加（1/25～26）

1/25、26の2日間、伊予市双海町で開催された「森のようちえん指導者養成講座」に参加しました。NPO法人森のようちえん全国ネットワーク連盟の協力で行われたこの講座は、今回が四国で初めての開催でした。

振り返ると、兵庫県で開催されていた養成講座に参加し、「野山のおさんぽ会」をスタートさせたのが約9年前（2016年）。翌年から「森のようちえんヒュッテ」という名称で、定期的な森のようちえん活動を現在まで続けてきました。兵庫の講座に参加したときは、愛媛から1人だけでの参加でしたが、今回は、愛媛県内で森のようちえん活動をしている仲間のほか、森のようちえんヒュッテに参加してくれているお母さん、西予市内のフリースクールや保育園の先生なども

参加しており、県内での森のようちえんへの関心の高まりを感じてうれしく思いました😊。

今回の講座を受講し、あらためて自分たちの活動や運営のあり方を見つめ直すことができたので、今後の活動にしっかり生かしていきたいと思っています。（ゆ）



👉 よもやま話

●先日、自宅の炊飯器を買い換えました。以前に使っていたのは、結婚したタイミングで買ったもの。コーティングがはがれた内釜を1度交換するなどして、かれこれ15年くらい使っていました。内釜のコーティングが再びはがれてしまったのですが、もう生産中止になって交換ができなくなり、本体のふたが勝手に開いてうまく炊飯ができなくなるなどの不具合も出始めたので、さすがにそろそろ買い替え時かなあ…😞ということ。

買い替えにあたり、我が家が特に重視したのは、次の3点です。

- ①サイズ：一升炊き
- ②おいしく炊けること
- ③手入れが簡単なこと



インターネット上の口コミなどを参考にしながら選んだ新しい炊飯器は、とってもいい感じ♪以前に使っていたものよりも、おいしく炊ける気がします😊（特に、保温しておいたご飯のおいしさが違う！）。我が家は基本的にお米が主食なので炊飯器の使用頻度が高く、買い換えたことで日々の生活の幸福度は確実に上がったなと思いました(笑)。将来、子どもが一人暮らしをすることになったら、炊飯器についてはちょっといいやつを買って送り出してやろうと思います。（ゆ）



購入した新しい炊飯器▶

<発行> 一般社団法人

ノヤマカンパニー



愛媛県西予市宇和町稻生237-1

✉ noyama.company@gmail.com